

「水害」と「土砂災害」に備える

▽防災対策課 (TEL 23・7660)



ポイント1 ハザードマップの活用

ID 529503658

今年、梅雨入りは例年にならずに早さでその時期を迎えました。近年、梅雨時から秋にかけて集中豪雨や台風による水害や土砂災害が、全国各地で頻繁に発生しています。昨年6月下旬から7月にかけて大雨が続き、市内でも土砂崩れなどの被害が100件以上報告されました。

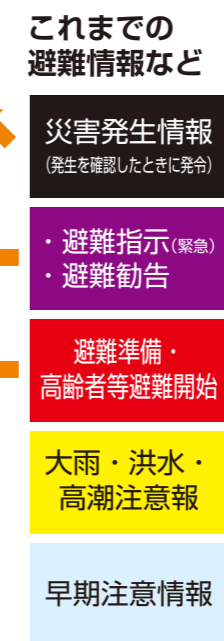
そうしたことから、今年もいつ水害や土砂災害に見舞われるかわかりません。突然の災害に備えるために、日ごろから避難の準備をしておきましょう。今回の特集では、避難準備のポイントを紹介いたします。

自宅周辺の危険について、あらかじめハザードマップで確認しておきましょう。ハザードマップは避難のタイミングを書き込めるようになっているので、家族で話し合うときに活用してください。ハザードマップは市ホームページで確認できます。



ポイント2 早めの避難

「災害対策基本法」が改正され、5月20日から施行されました。これにより避難情報が増え、変更となりました。警戒レベルは5段階に分けられました。



警戒レベル	状況	行動を促す情報
5	災害発生または切迫	緊急安全確保 ※1
〈警戒レベル4までに必ず避難！〉		
4	災害の恐れ高い	避難指示 ※2
3	災害の恐れあり	高齢者等避難 ※3
2	気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報
1	今後気象状況悪化の恐れ	早期注意情報

※1 警戒レベル5「緊急安全確保」は、災害が発生または切迫している状況です。立退き避難することがかえって危険な場合は、自宅の少しでも安全な場所に避難しましょう。

※2 避難勧告は廃止され、避難指示に一本化されました。避難指示は、従前の避難勧告のタイミングで発令します。

※3 「高齢者等」は高齢者だけでなく、避難に時間がかかる人も含まれます。

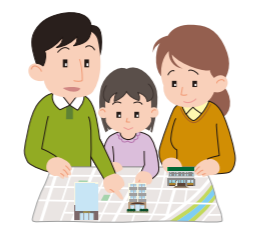
ポイント3 避難場所の確認

ID 354146076

小中学校や公民館などの避難所へ行くことだけが避難ではありません。避難には次の3つの行動があります。

①安全な親戚・知人宅、ホテル、旅館への避難

普段から災害時に避難する場所について相談しておきましょう。やむを得ず車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況などを十分確認してください。



②自宅での安全確保

自宅にとどまる場合には、あらかじめハザードマップで自宅周辺が安全な場所か確認し、念のため2階や山に面していない部屋などに避難することも考えておきましょう。



③市が指定した避難所への避難

ID 426844692

普段の防災グッズに加えて、感染症対策のために、マスク、消毒液、体温計などを持参してください。



昨年発生した国道301の土砂崩れ

逃げ遅れないために！

避難とは、難を避けること、つまり安全を確保することです。家の近くに危険な場所がある方は、事前にさまざまなことを確認しておきましょう。

ポイント4 情報収集

さまざまな方法で情報を入手できるようにしましょう。

市からの情報

ホームページ

災害時にはトップページを切り替えて情報を集約します。

メール配信システム

ID 354146076

メール配信システムに登録すると、選択した情報をどこでも入手できます。

防災行政無線

緊急性の高い情報をリアルタイムで放送します。

【ティーズ】ティーズチャンネル 12ch

ティーズチャンネルで防災情報が確認できます。避難する際の参考にしてください。

中部電力パワーグリッドからの情報

停電情報をスマホで確認できます。



▲iOS ▲Android

気象庁からの情報

雨雲の動き、今後の雨、土砂災害、浸水害、洪水の情報がリアルタイムで配信されています。



豊橋河川事務所からの情報

豊川の映像、水位、雨量を確認できます。

